

子曰、「学^{ハク}而^{ビテ}時^ニ習^フ之^ヲ、

不^レ二亦^{シカラ}說^シ一^ハ乎。有^リレ朋^ト自^リ二遠^ニ方^ニ

一^ニ来^ル、不^レ二亦^{シカラ}樂^シ一^ハ乎。人^{シテ}不^レ知^ラ

レ而^レ不^レ慍^ミ、不^{ズヤト}二亦^ニ君^{ナラ}子^ト一^ハ乎。」

① 全文書き下し文にせよ。

② 「不^レ二亦^{シカラ}說^シ一^ハ乎。」とあるが、現代語訳せよ。

③ 「慍」とあるが、送り仮名を含めて現代仮名遣いで読みを答え、それを含んだ一文をすべて現代語訳せよ。

④ 「君子」とはどのようなものか。二十字程度で説明せよ。

子曰、「学^{ハク}而^{ビテ}不^レ思^ハ則^チ罔^シ。

思^{ヒテ}而^レ不^レ学^バ則^チ殆^{フシト}。」

⑤ 全文書き下し文にせよ。

⑥ 「罔」、「殆」の読みを送り仮名含めて現代仮名遣いで答えよ。

⑦ 「罔」、「殆」とあるが、それぞれどういった状況でそうなるのか説明せよ。

子曰、^{ハク}「吾十有五^{ニシテ}而志^スニ
于学^ニ一。三十^{ニシテ}而立^ツ。四十^{ニシテ}
而不^レ惑^ハ。五十^{ニシテ}而知^ル二天命^ヲ一。
六十^{ニシテ}而口順^フ。七十^{ニシテ}而從^{ヒテ}ニ
心^ノ所^ニレ欲^{スル}不^トレ踰^エレ矩^ヲ。」

⑧ □に当てはまる漢字を一字で答えよ。

⑨ 全文書き下し文にせよ。

⑩ 「有」、「矩」の読みを送り仮名含め現代仮名遣いのひらがなで答えよ。

⑪ 「不^レ踰^レ矩」とはどういった意味か。次から選べ。

- (ア) 制約を受けた生き方をするのがなくなった。
- (イ) 欲望に負けることがなくなった。
- (ウ) 不満を周囲に漏らすことがなくなった。
- (エ) 社会の規範から外れることがなくなった。

季康子問^{ヒテ}二政^ヲ於孔子^ニ。孔
子^ハ對^{ヘテ}曰^{ハク}「政者正也。子帥^{ホシ}
以正^{ツテ}孰敢^{シケレバ}不^カレ正^{ヘテ}。」
シカラ

⑫ 全文書き下し文にせよ。

⑬ 「政」、「帥」の読みを送り仮名も含め、現代仮名遣いのひらがなで答えよ。

⑭ 「孰敢不^レ正。」を現代語訳せよ。

子貢問^{ヒテ}曰^{ハク}、「有^ル一言^{ニシテ}而
可^キ以終身行^フ之^ヲ者乎^ト。」子
曰^{ハク}、「其恕乎^レ。己^ノ所不^ル欲^セ、
勿^{カレト}施^{スコト}於人^ニ。」

⑮ 全文書き下し文にせよ。

⑯ 「其恕乎」の読みを送り仮名も含め、現代仮名遣いのひらがなで答えよ。

⑰ 「一言而可以終身行之者」とはどんなことか説明せよ。

⑱ 「己所不欲、勿施於人。」を現代語訳せよ。

季康子^ニ問^{ヒテ}政^ヲ於^レ孔子^ニ曰^{ハク}
、「如^シ殺^{シテ}無^ニ道^ヲ、以^{ツテ}就^{カバ}ニ有^ニ
道^ニ、何^ト如^ト。」孔子^{ハテ}對^{ハク}曰^{ハク}、「子^{スレバ}
為^{スニ}政^ヲ、焉^レ用^レ殺^ス。子^{スレバ}欲^{スレバ}善^ニ
而^{ナリト}民^{ナリト}善^{ナリト}矣^{ナリト}。」

⑲ 「如」、「對」の読みを送り仮名も含め、現代仮名遣いのひらがなで答えよ。

⑳ 「焉用殺」を書き下し文に直せ。(あえて送り仮名は書いていない。)

㉑ ㉑を現代語訳せよ。

㉒ 孔子が伝えたかった為政者への教訓は何か説明せよ。

子曰、道之以政、齊之以刑、民免而無恥、道之以德、齊之以礼、有恥且格。

②② 「道」、「齊」、「格」の読みを送り仮名も含め、現代仮名遣いのひらがなで答えよ。

②③ 「齊之以刑、民免而無恥。」とあるが、どのようなことを述べているか。「之」の意味を明らかにして説明せよ。

②④ 孔子の説く「礼」とは何か。漢字で答えよ。

解答

- ① 子曰く、学びて時に之を習う。亦説はしからずや。朋有り遠方より来る、亦樂しからずや。人知らずして慍みず、亦君子ならずや。
- ② なんと喜ばしいことではないか
- ③ 「うらみ」 訳：世の人が自分のことを認めてくれなくても不平不満を抱かない、これこそ君子というものではないか。
- ④ 道德観と教養を兼ね備えた立派な人物のこと。

⑤ 子曰く、学びて思はざれば則ち罔し、思ひて学ばざれば則ち殆し。

⑥ くらい あやうし

⑦ 学んでも自分で考えとして落とし込まない状況と、自分で考えるだけで他から何も学ばない状況。

⑧ 耳

⑨ 子曰く、吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑はず。五十にして天命を知る。六十にして耳順ふ。七十にして心の欲する所に従ひて矩を踰えず。

⑩ ゆう 二 二 二 え

⑪ 工

⑫ 季康子、政を孔子に問う。孔子对えて曰わく、「政は正なり。子帥めて以つて正しければ孰か敢えて正しからざるや」と。

⑬ まつりごと ひきつて

⑭ 誰が正しくない行いをするだろうか。いや、誰もしない。

⑮ 子貢問ひて曰はく、「一言にして以つて終身之を行ふべき者有るか。」と。

⑯ それじよか

⑰ ひとことで言い表した生涯行い通すべきこと(教え)

⑱ 自分がしてほしくないことは他人にもしてはいけない

⑲ もしーこたえて

⑳ 焉ぞ殺を用ひん

㉑ どうして人を殺す必要があるでしょうか、いや、ない。

㉒ みちびくにととのうるに ただしと

㉓ 人民を統制することにおいて刑罰を用いれば、人々はそうした規制や刑罰から逃れりことだけを考えるようになり、悪事を恥ずかしいと思わなくなるということ。

㉔ 礼儀